



# 一中だより

令和6年度 第4号

令和6年5月15日(水)

## たくさんのご来校をありがとうございました 本校の日常を多くの保護者の方々にご覧いただきました

学校公開を5月10日に開催しましたところ、多くの保護者の方々に来校いただき、日常的な教育活動をご覧いただきました。

本校では、「気楽にゆったり来校いただく」「普段の学校生活をご覧いただく」「保護者の方の都合のよい時間にご来校いただく」「ご覧になりたい教科等を自由に選んで参観いただく」等々の観点から、通常授業を1日公開することとしています。また、1～6校時を公開授業にすることで、限られた時間に来校者が集中せず(密を避け)ゆっくりと校内全体を回っていただけるようにも配慮しました。

当日は、1校時から早速に来校されている保護者の方々の姿を拝見し、本校の教育に対する保護者の皆様方の関心の高さに率直なところ驚かされるとともに大変ありがたく思いました。各学年とも通常授業を中心に日常的な学習風景をご覧いただけるようにしましたので、生徒の学びや学校生活について様々な面から見て感じていただけたことと思います。生徒は普段どおりに学習し生活していましたが、保護者の方々に『見られている』ことから、それぞれが「頑張る」様子がうかがえました。生徒にとっても、励みとなる1日だったように思います。

また、PTA・部活動後援会本部役員の方々にご尽力いただき、「制服・柔道着リユース販売会」を会議室で併せて実施しましたところ、多くの保護者の方々に寄り添っていただき、お買い上げいただきました。売上金につきましては、第一中学校教育振興基金へ繰り入れ、生徒の学校生活充実に向けた原資にしたいと思っております。

ご来校いただいた皆様には、生徒の真剣に学ぶ姿や頑張る様子など本校のよさに触れていただけたことと存じます。保護者の皆様のご理解・ご協力を得て、学校公開について滞りなく行うことができました。ありがとうございました。



春の三者面談では、ご多用にもかかわらずご来校いただき、大変お世話になりました。面談の場で相談いただいたことやお問い合わせのあった点については、早めに検討し改善に向けて可能な限り対応したいと思っております。なお、個別の案件については当該(または関係)の方々に回答し、全体に関わることは通知等でお伝えしたいと考えておりますので、ご了解ください。

## 体育館空調設備の設置工事が始まりました

GW 後の5月7日から体育館の空調設備設置工事が始まりました。工事完了は7月中旬を予定しております。その間、外回りの工事や部分工事が断続的に行われ体育館フロアの全てが使用できないわけではありませんが、体育の授業や各種の集会・講演会等は行う予定です。(ただし、全校規模の大きな集まりについては、工夫したとしても多少の不都合が生じてしまうかもしれませんが…)1学期の体育館での活動では工夫を要しますし、生徒に若干の不便をかけるかもしれません。しかし、夏本番となる1学期終業式や夏休みには空調設備の稼働は間に合うようです。今年の夏も猛暑が予想されるなか、空調によって体育館での活動が安全に行われ、一中での学校生活がますます快適になることを願っております。



なお、5月7日から工事が開始されるために運営面や安全面等で不明な点が生じたことから、5月10日に予定しておりましたPTA・部活動後援会総会につきましては書面開催へ変更いたしました。保護者の皆様には、急な変更にもかかわらず、ご理解・ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

## 1年間、このまま、ずっと続くといいですね

新学期がはじまって1か月が過ぎ、生徒たちは学校生活を送っています。本校の生徒たちは授業や部活動等の様々な活動に一生懸命取り組むよさがあります。最近、特に感心していますのは、朝、時間的に余裕をもって登校できている生徒が多いことです。ほとんどの生徒が、始業5分前までの8:10までに校門を通過しています。時間的に余裕をもって登校できることは、交通事故の予防や落ち着いた学校生活のスタートにつながります。登校に限らず、余裕をもって物事を始める習いは、規則正しい生活習慣の確立やルールや約束の遵守できる人間形成の一環として、自立した社会人になるための第1歩として必須のことと思います。ご家庭でのご指導・ご支援の賜物と存じてはおりますが、これからの暑い夏や寒い冬の朝にあっても、今のように時間的に余裕をもって登校する生徒がたくさんいてくれることを願っております。



## 落ち着いた様子で4・5月を過ごせています

今年度から「中体連春季大会と総合体育大会を統合して実施する」こととなり、また、本校では「1学期中間テストを行わない」としました。このことに至ったのは、「年度当初に多くの行事等が集中しすぎて、新しいステージでの始動といった最も大切なことへ落ち着いた姿勢でじっくりと取り組むことが難しい状況を解消する」ことを第一義に考えての結論でした。その一方で、「春季大会や中間テストといった目標や折り目がなくなり、学校生活におけるメリハリが失われる」危惧もありました。果たして、5月中旬の今、生徒たちの様子をうかがいますと、昨年までの同時期よりも行事等に追われることが少なく、余裕をもって生活を送りながら落ち着いた姿勢で物事へ取り組んでいるように思います。春先には心配もありましたが、「変更してよかった」と今は少し安堵しています。

生徒や保護者の皆さん方のご意見等を傾聴して、高原学校や体育大会、チャレンジウィークの実施時期なども今年度は見直しました。

今後も『生徒ファースト』の視点から総合的に判断して教育活動を展開することで充実した1年間にしたいと考えております。保護者の皆様には、ますますのご協力をお願いいたします。

